

(1)初診

表2 - 6 - 1 初診

	総計		難易度 a		難易度 b	
	件数	%	件数	%	件数	%
15分未満	12	10.9	12	12.9	0	0.0
15～20分未満	27	24.5	26	28.0	1	5.9
20～30分未満	24	21.8	24	25.8	0	0.0
30～40分未満	26	23.6	18	19.4	8	47.1
40分以上	21	19.1	13	14.0	8	47.1
合計	110	100.0	93	100.0	17	100.0

平均	28.7	平均	25.2	平均	48.1
----	------	----	------	----	------

(2)再診1

表2 - 6 - 2 (再診1)

	総計		難易度 a		難易度 b	
	件数	%	件数	%	件数	%
5分未満	2	4.9	2	5.3	0	0.0
5～10分未満	12	29.3	12	31.6	0	0.0
10～15分未満	12	29.3	11	28.9	1	33.3
15分以上	15	36.6	13	34.2	2	66.7
合計	41	100.0	38	100.0	3	100.0

平均	11.6	平均	10.4	平均	26.7
----	------	----	------	----	------

(3)再診2

表2 - 6 - 3 (再診2)

	総計		難易度 a		難易度 b	
	件数	%	件数	%	件数	%
5分未満	12	10.6	11	10.5	1	12.5
5～10分未満	61	54.0	60	57.1	1	12.5
10～15分未満	19	16.8	18	17.1	1	12.5
15分以上	21	18.6	16	15.2	5	62.5
合計	113	100.0	105	100.0	8	100.0

平均	8.8	平均	8.3	平均	16.1
----	-----	----	-----	----	------

(4)再診3

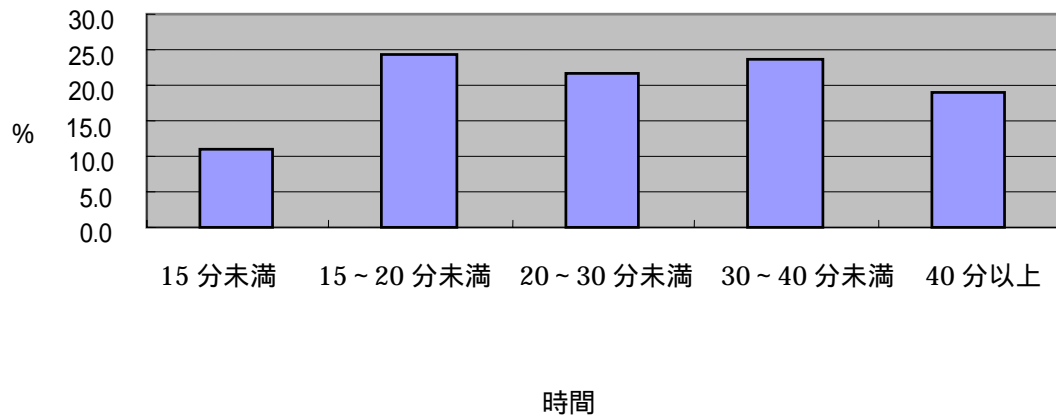
表2 - 6 - 4 (再診メンテナンス)

	総計		難易度 a		難易度 b	
	件数	%	件数	%	件数	%
5分未満	28	11.1	28	11.4	0	0.0
5～10分未満	131	52.0	129	52.7	2	28.6
10～15分未満	55	21.8	55	22.4	0	0.0
15分以上	38	15.1	33	13.5	5	71.4
合計	252	100.0	245	100.0	7	100.0

平均	9.5	平均	9.0	平均	24.6
----	-----	----	-----	----	------

図 1 - 7 - 1

初診に要した時間(全体)



初診に要した時間(難易度b)

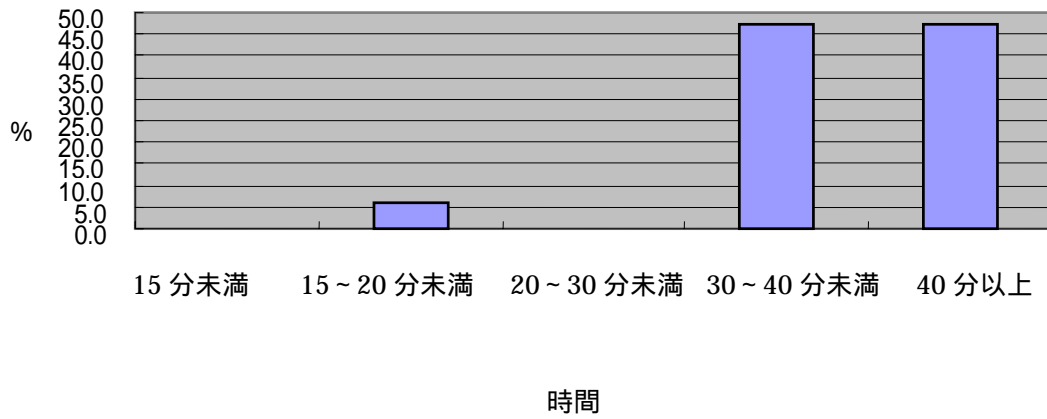
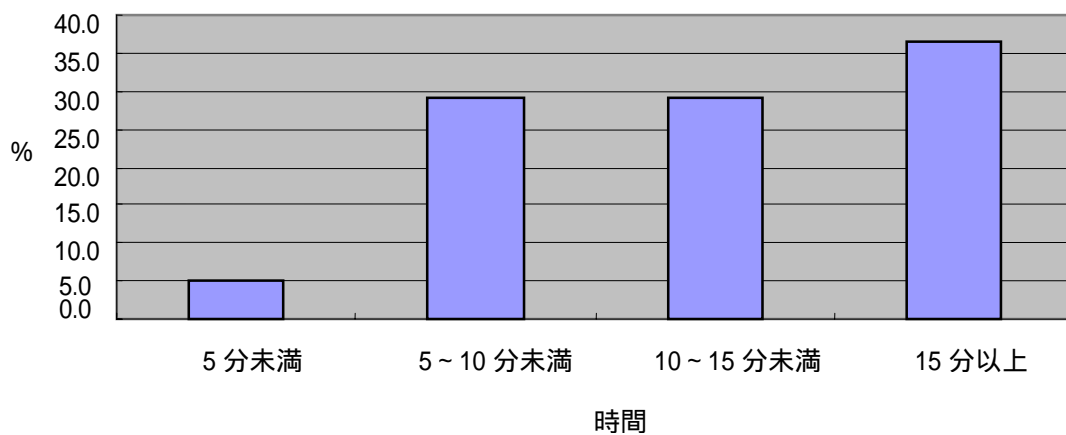
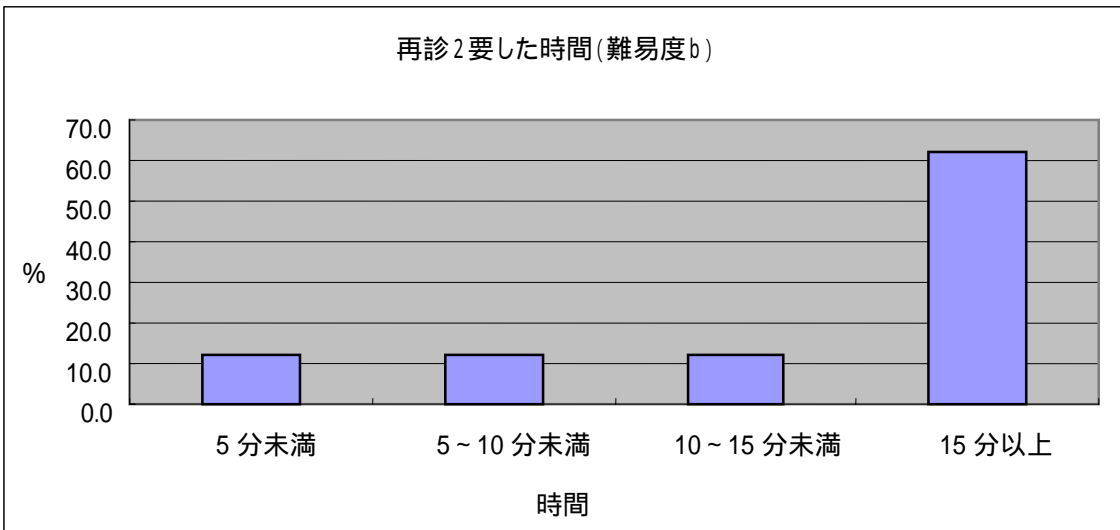
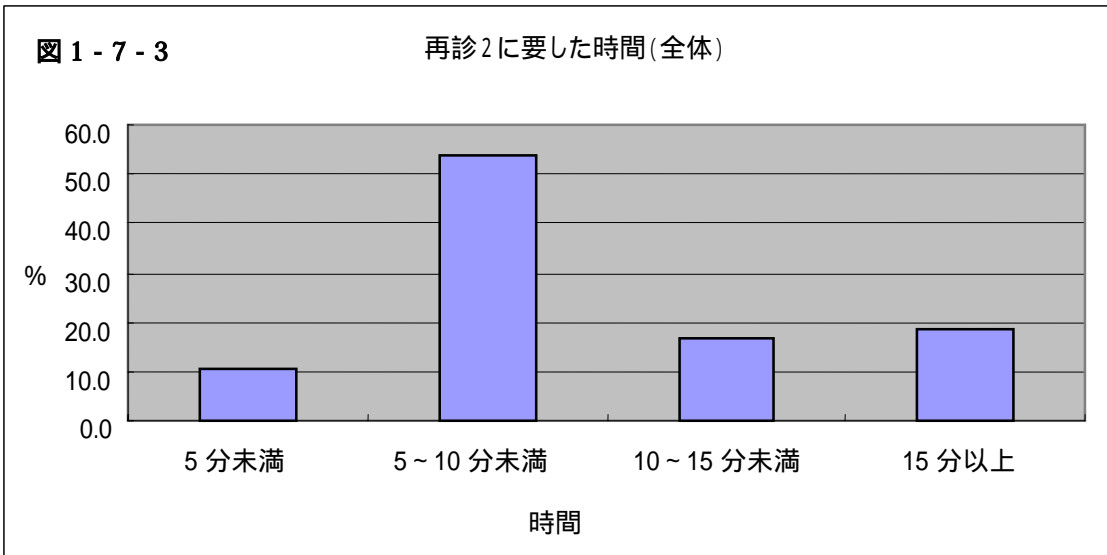
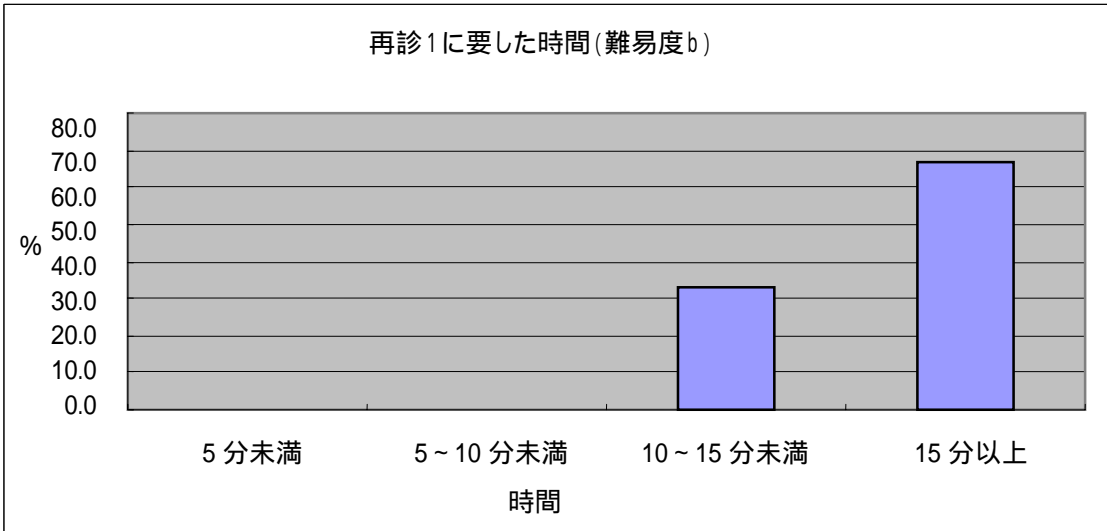
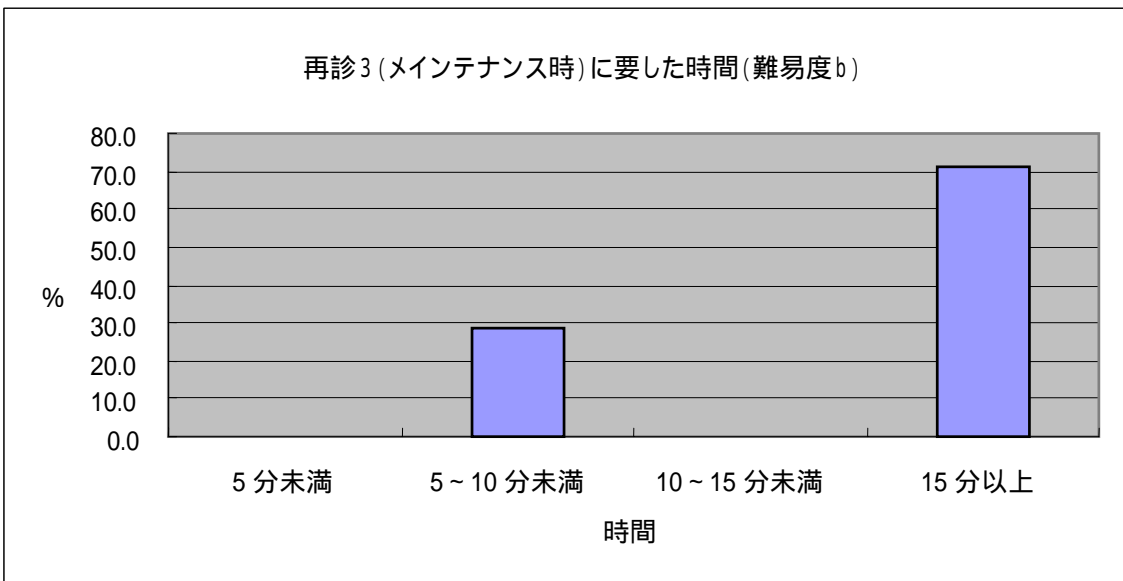
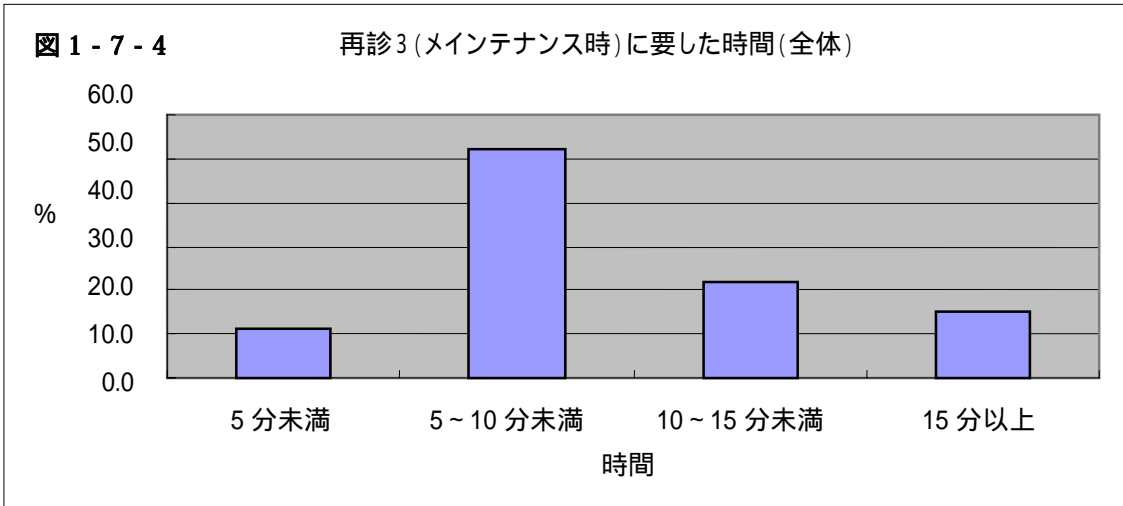


図 1 - 7 - 2

再診1に要した時間(全体)







(6) 作業用印象採得に要した時間 (分)

(表 1 - 1 , 表 1 - 3 , 表 2 - 7 , 図 1 - 8)

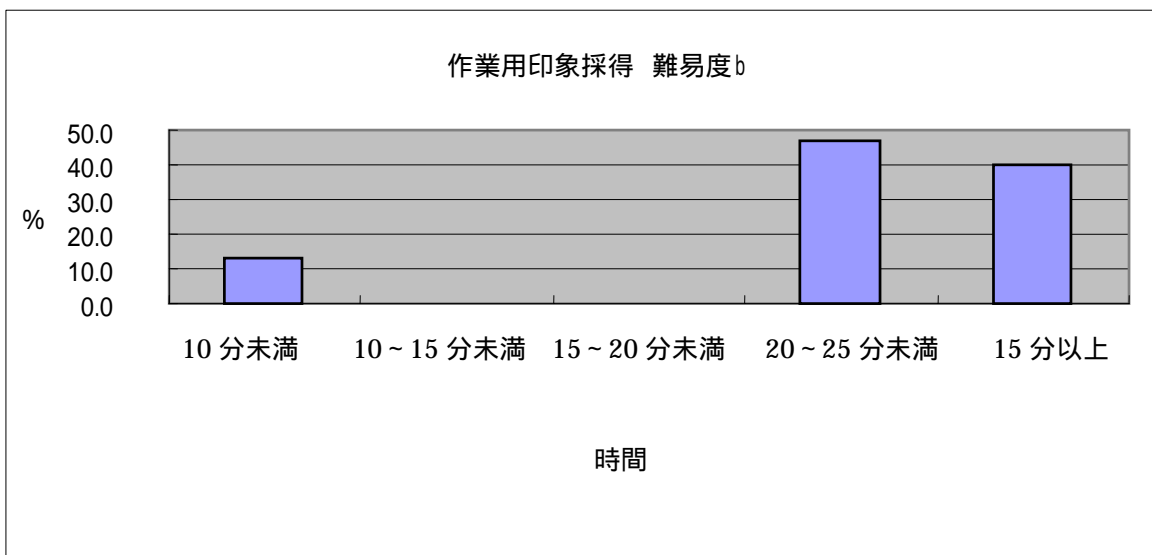
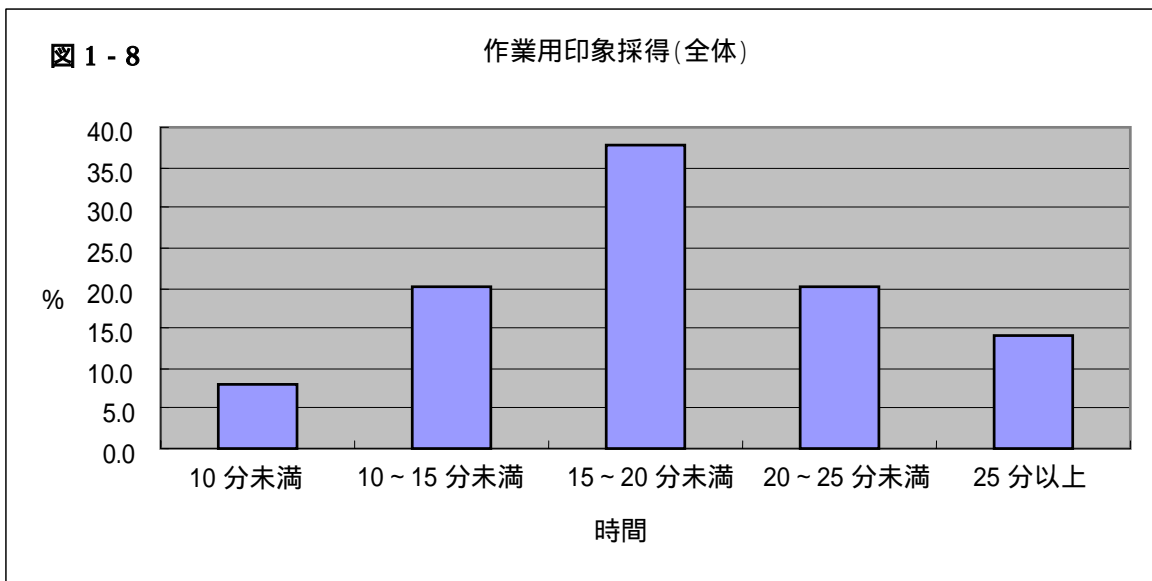
全体の平均は 16.61 ± 6.53 、中央値 15 分であった。

初診時に作業用印象を行う場合と再診時に行う場合で中央値に変化は無かったが症例の難易度に大きく左右されている (表 2 - 7)。嘔吐反射が極めて強い等難易度の高い症例では装置治療そのものが適応外になる可能性も考えられる。表 2 - 7 と図 1 - 8 に時間の分布を示した。15 分 ~ 20 分をピークとして分布している。難易度別に見ると難易度の低い症例は 15 分 ~ 20 分にピークが有り 15 分未満が続いている。これに対して難易度の高い症例は 20 分以上に集中している。

表2 - 7 作業用印象採得

	総計		難易度 a		難易度 b	
	件数	%	件数	%	件数	%
10 分未満	9	7.9	7	7.1	2	13.3
10 ~ 15 分未満	23	20.2	23	23.2	0	0.0
15 ~ 20 分未満	43	37.7	43	43.4	0	0.0
20 ~ 25 分未満	23	20.2	16	16.2	7	46.7
25 分以上	16	14.0	10	10.1	6	40.0
合計	114	100.0	99	100.0	15	100.0

平均	16.6	平均	15.7	平均	22.5
----	------	----	------	----	------



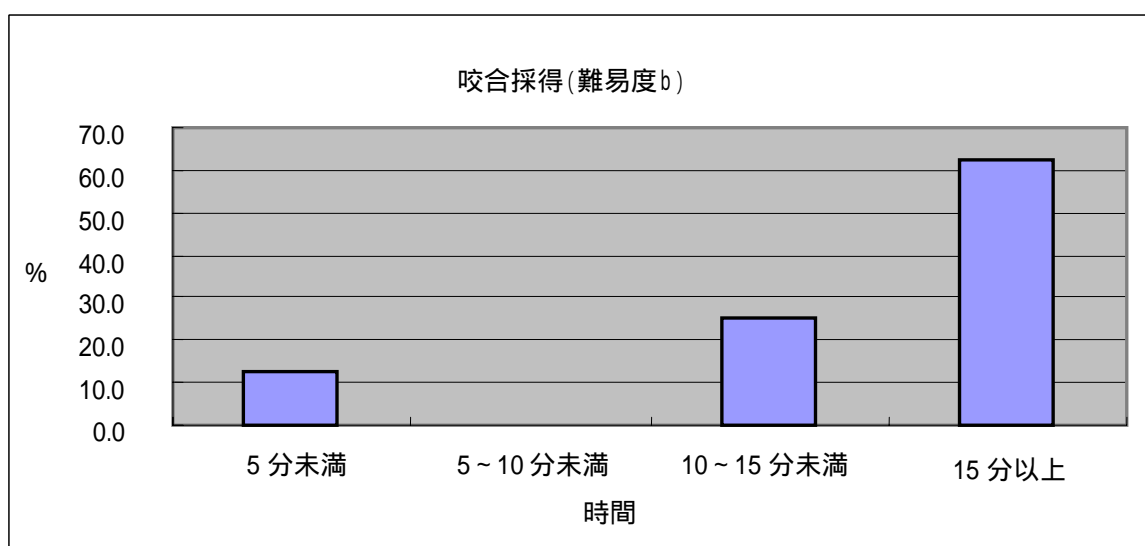
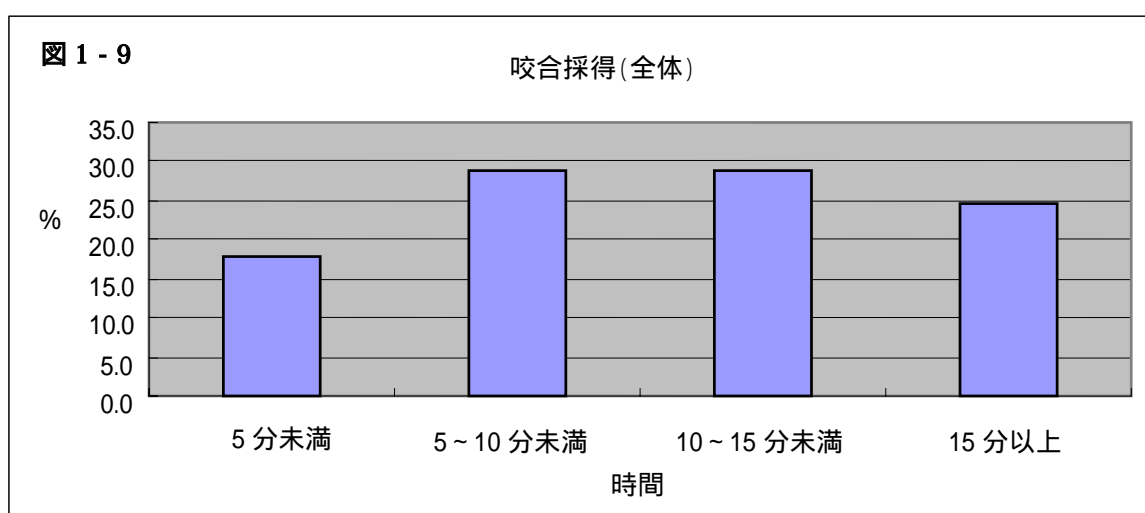
(7) 咬合採得に要した時間(分)(表1-2, 表1-3, 表2-8, 図1-9)
 咬合採得に要した時間は平均 9.26 ± 5.56 、中央値 10 分であった。この項目も難易度により左右される(表2-8)。

咬合採得の所要時間からは単純な中心位咬合でなく医療機関により様々考慮がなされている事が伺える。口腔内で一体化させる方式を採用している施設が大半であるが、かなり慎重に行っている様子が見える。

表2 - 8 咬合採得

	総計		難易度 a		難易度 b	
	件数	%	件数	%	件数	%
5分未満	13	17.8	12	18.5	1	12.5
5～10分未満	21	28.8	21	32.3	0	0.0
10～15分未満	21	28.8	19	29.2	2	25.0
15分以上	18	24.7	13	20.0	5	62.5
合計	73	100.0	65	100.0	8	100.0

平均	9.3	平均	8.5	平均	15.5
----	-----	----	-----	----	------



(8) 装置装着に要した時間(分)(表1 - 4, 表2 - 9, 図1 - 10)

装置の装着に要した時間は 12.7 ± 89.72 、中央値 10 分であったが、難易度で中央値 10 分以上の差があった。

この項目は、上下の装置をそれぞれ口腔内に装着し、嘔吐反射や歯の痛み、装置による圧迫が生じず、就寝中に装置が脱落せず維持して使用できる状態までを作り上げる重要な作業であり、次の項目の下顎位置を決定する前段階として重要である。

表2 - 9 装置装着

	総計		難易度 a		難易度 b	
	件数	%	件数	%	件数	%
5分未満	13	11.3	12	12.2	1	5.9
5～10分未満	38	33.0	38	38.8	0	0.0
10～15分未満	18	15.7	13	13.3	5	29.4
15～20分未満	16	13.9	12	12.2	4	23.5
20分以上	30	26.1	23	23.5	7	41.2
合計	115	100.0	98	100.0	17	100.0

平均	12.7	平均	11.3	平均	20.9
----	------	----	------	----	------

